

■第66回 河川レンジャー制度運営委員会（2022.6.8）議事録

◆出席：中谷委員、北井委員、辻委員、矢野委員

（太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局）

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
1. 開会	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、ご多忙の中、河川レンジャー制度運営委員会のご出席を賜りまして、ありがとうございます。お礼を申し上げます。それでは、定刻となりましたので、これより第66回河川レンジャー制度運営委員会を開催いたします。 ・私は、本日の司会を務めさせていただきます、委員会事務局、河川財団近畿事務所の中西と申します。よろしくお願ひします。 ・本日の委員会でございますが、平山委員がご欠席となっておりますけれども、ご都合がつけば後半のほうでご出席いただけるかもしれません。、委員総数の過半数以上の出席をいただいておりますので、規約第8条第2項により、本日の委員会の成立をご報告いたします。 ・次に、お手元に郵送させていただきました資料のご確認をお願いいたします。本日の資料は、議事次第、委員名簿、本資料としては資料－1から資料－6までの6種類、それから参考資料も1から6までの6種類ございます。画面にも適宜共有しながら説明をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。 ・続きまして、委員の紹介をさせていただきます。第66回制度運営委員会の委員名簿をご確認ください。少し異動等もありまして事務局が替わっているところもございます。委員の方々におかれましては替わってごさいませんが、年度の最初ということでお一人ずつ自己紹介をお願いできればと思います。事務局よりお名前を申し上げますので、紹介いただけたらと思います。それでは、中谷恵剛様。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもお世話になっておりますと申しますか、委員の皆様、そして事務局の皆様、大変お疲れさまです。ありがとうございます。 ・振り返りますと、かなり長いこと関わらせて頂いたなというようなこともあります。皆さんご承知のとおり、まだまだいろいろこれからやるべきところがありますので、またともにいろいろ議論、工夫しながら進めていければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・それでは、北井様。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の立場での委員として関わらせていただいております北井と申します。私も、中谷委員と同じく、長くさせていただいております。 ・住まいは草津川の上流のあたりにおりまして、去年のお盆の雨で近くの橋桁が崩れたとかで今も随分長いこと工事に入っいらっしやるような

		<p>エリアがあります。関心があるんですが詳しく声はかけられず、しみじみ「橋や護岸って、こんなに長期間かけて直すんだなあ」と思いながら興味を持って見て過ごしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度もどうぞよろしくをお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくをお願いします。 ・それでは、行政関係者からということで仕様。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。滋賀県河川・港湾室長の辻光浩です。いつもお世話になっております。 ・私は行政関係者ということで、滋賀県の河川整備の計画とか工事、維持管理、また河川の利用とか河川で何か占用物を置くときの許認可、そういったものを所管している部署におります。また、個人的にですけれども、私は、愛知川沿川に住んでおまして、愛知川の堤防の草刈りや点検など、住民活動にも参加をさせてもらっております。 ・この河川レンジャーの内容は、仕事面、また私の住まい地における活動とも密接に関係しますので、そういったところから、気づいた点等を発言させていただければと思っております。よろしくお願ひいたします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・それでは、矢野様。
	矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖河川事務所長の矢野公久です。私も事務所長をして2年目になります。大津市に住んだという点では、20年前に3年ほど住んでますので、延べで5年目ということになります。私も、辻さんと同様、河川管理者、行政関係者ということで参加させていただいております。 ・河川レンジャーにつきましては、当事務所が、河川の利用ですとか、いろいろ図っていくために設置している制度でございまして、それにご賛同いただいている方々、河川レンジャーの皆さんの運営に支障がないように、ある程度支援ができるようにということで設定しているところでございます。そういった点では、今この制度運営委員会でいろいろご議論頂くことが我々の中でも、整備ですとか、そういった管理にも運用できると考えてございますので、今までどおり、忌憚のないご意見をいただければなというふうに思っています。本日は、どうぞよろしくお願ひします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・あと平山委員がおられますけれども、委員は5名の体制でございます。 ・琵琶湖河川レンジャーとしましては、後ほど年間活動計画の議事でお話しいただきますので、事務局からご紹介します。根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャーです。 ・それから、裏面に参りまして、河川レンジャー担当の事務局ですけれども、新しいメンバーの方から一言お願ひしたいと思ひます。

		<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖河川事務所の総括保全対策官の荻田様、よろしくお願いします。
	△荻田	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖河川事務所、総括保全対策官をしてます荻田です。琵琶湖河川事務所は2年目になるんですけども、今年度からこちらの事務局に参加させていただきますので、よろしくお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございました。 それでは、保全対策官の松田様。
	△松田	<ul style="list-style-type: none"> 保全対策官の松田と申します。どうぞよろしくお願いします。 今年から河川レンジャーの担当ということで琵琶湖河川事務所に参加しました。私、以前、整備局のほうで河川協力団体等を担当してまして、そのときは中谷さんにいろいろお世話になりました。どうもありがとうございました。またこれからもよろしくお願いします。 河川レンジャーにつきましては私もまだまだわからないところ等ございます。その辺いろいろ勉強しながら皆さんとまた協力関係を築いていきたいなと思ってございますので、どうぞよろしくお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございました。 それから、河川事務所の堀様ですが、今年度も引き続き担当いただいております。 あと活動支援室のほうですけども、松岡をはじめ、河川財団の面々は替わってございませぬ。またよろしくお願いいたします。 では、議事次第に戻ります。本日の議事でございますが、まず「委員長・副委員長の選出」というところから「5. その他」までを行います。閉会は15時40分を予定しております。長時間になりますけれども、よろしくお願いいたします。 ここで発言においての注意事項を申し上げたいと思います。委員の皆様及びレンジャーの皆様におかれましては、マイクを基本ミュートにいただきまして、発言される際に進行役の委員長の指示によりましてミュートを解除して発言頂くということでよろしくお願いいたします。発言の際には、挙手またはZoomでの合図等をお願いしたいと思います。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
2. 委員長・副委員長の選出	△中西	<ul style="list-style-type: none"> では、これより「委員長・副委員長の選出」の議事に移りたいと思います。 こちらの進行については、前年度委員長をお務めいただきました中谷委員に進行役をお願いしたいと思っております。皆様、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。異議がないようでございますので、中谷委員に委員長選出の進行役をお願いしたいと思います。中谷委員、よろしくお願いします。

中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、今、事務局からお話のありましたとおり、今年度の委員長・副委員長の選出ということで進めさせていただきます。立候補、その他、委員の皆様、どのように取り計らえばよろしいか、ご発言いただければありがたいですが。委員の互選によりという規約でしたね。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうです。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・互選ということで他薦したいと思うんですけども、きょうは平山委員もいらっしゃらなくて、ほかが行政関係の委員の方でどうしようかなという感じがちょっとしていますが、引き続き中谷委員に進めていただけたらなと思ひまして他薦させていただきたいと思ひます。いかがでしょうか。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・北井さん、ご発言いただきまして、ありがとうございます。 ・という話をいただきましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。 ・辻さん、どうぞ。
辻	<ul style="list-style-type: none"> ・私も中谷さんにお願ひができたらと思ひております。といいましますのも、滋賀県で長らく河川行政に関わってくださってましたし、淀川の計画等も精通されてますし、またこういったレンジャー活動にずっと関わってくださってますので、今年もぜひともお願ひができたらなというふうに思ひているところです。以上です。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・辻さん、ありがとうございます。 ・というようなお話をいただきましたので、委員の皆様、お引き受けすることにしてさせていただきますのでよろしいですかね。
矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なしです。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・では、今のとおり、お話をいただきましたので、引き続きお引き受けして、皆さんの協力をいただきながら進めさせていただきたいと思ひますので、どうぞご協力よろしくお願ひいたします。
矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願ひします。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。こちらこそ、よろしくお願ひします。 ・では、続いて副委員長をとということなのですが、これもずっと続けてきているということもあり、住民としてのご発言——先ほど草津川のお話もありましたが、そういうことも含めてそういう目線で見えて頂く、また制度ができてから長い経験をお持ちだということも踏まえて——同じことをずっとやるのではなしに、そういう経験も踏まえながら新しいことにもということが大事故かと思ひますので、そういうところでまた北井さんにご協力いただひて進めていければなと思ひますが、いかがでしょうか。北井さん、お引き受けいただけますか。副委員長をお引き受けいただければありがたいと思ひているんですけど。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか活動が伴わないので恐縮ではありますが、長いことさせていた

		だいていることもあって継続して関わられたらと思いますので、もしご異議なければお引き受けしたいと思います。
	中谷	・では、委員の皆様、今まで進めてきましたように、中谷が委員長をお引き受けし、北井さんには副委員長を引き受けて頂くということで進めさせていただきますたいと思いますが、よろしいでしょうか。
	矢野	・異議ありません。
	中谷	・力強いお言葉をいただきまして、ありがとうございます。 ・では、そのようにさせていただきますので、ご協力いただきますようによろしく願いいたします。
	矢野	・お二方ともよろしくお祈いします。
	△中西	・よろしくお祈いします。 ・それでは、ただいまの議事は規約の第7条第2項によるものでございまして、ここに中谷委員が委員長、北井委員が副委員長に選出されたということで、ありがとうございます。
	中谷	・早速、議事次第にのっとりまして進めさせていただきますので、よろしくお祈いいたします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 第65回委員会 以降の動きに ついて	中谷	・では、議事次第3点目の「報告」ということで、第65回、前回の委員会以降の動きについて事務局から説明をお願いいたします。
	△中西	・お手元の資料-3と資料-4で説明させていただきます。 ・資料-3は、前回、第65回の議事要旨でございます。3月14日に開かれました。こちらの議事要旨、議事録はともに委員の皆様にご確認いただいておりますので細かくは説明いたしません、前回はレンジャーの皆様令和3年度の活動報告を聞きまして、振り返ってのアドバイスをさせていただきました。また、今年度の暫定計画についても審議いただきまして、4月からの活動について、また年間を通しての大まかな活動内容についても把握いただきまして、アドバイスをいただいております。特に議事要旨の3ページ目では、この後、年間活動計画の説明がありますけれども、そこに係ります助言、アドバイスをいただいております。また今後の議事の参考にしていただけたらと思っております。それから、事務局には、今後のレンジャーレポート等の配布の戦略とございますか、もっと幅広く情報が行き届くようにというようなアドバイスをいただいております。 ・資料-4は、第65回以降の動きということで事務局にてまとめております。 ・1つ目が、新規河川レンジャーの募集・応募状況に関するもので整理し

	<p>ております。前年度の後半で河川レンジャートライアルという話題が出てまいりましたけれども、今回、ホームページで案内したり、大学等にチラシを持っていったりしている中で、大学の学生さんが河川レンジャートライアルを希望されました。4月になってから応募の連絡がありまして、5月12日に河川レンジャートライアルとして登録をさせていただきました。実際、5月21日の水上レンジャーの活動で参加記録と補助をして頂いたというような実績を1度踏まれております。ということで、トライアル者が1名加わりましたということでございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ページ目は、河川レンジャーの応募の状況でございます。残念ながら、今回のタイミングでは応募がなかったんですけども、4月7日に、レンジャーとはどういうものか、できればなりたいというような方が説明希望を出されまして、事務局にて4月末に対応させていただきました。お仕事の関係でちょっと時間がとりにくいということで今回の応募には至りませんでした。意欲はあるので、また時間がつくれそうであればチャレンジしてみたいという方がいらっしゃいました。これは報告まででございます。 ・次に、事務局が主催しまして5月26日に河川事務所と河川レンジャーの意見交換会を開きました。今回のテーマは、河川事務所の今年度の事業概要を把握する、また事務所の方に河川レンジャーの取り組みを把握して頂くというような双方向の情報交換をさせていただきました。河川事務所の事業の中で住民と行政をつなぎたいような事業がないかとか、そういったところを少し深掘りして聞く、情報提供頂くというようなことをさせていただきました。詳しい中身は後日まとめて報告したいと思っておりますけれども、そのあたりはまた河川レンジャーの活動に生かせるものかなと思っております。 ・そのほか、新規河川レンジャー向けに事務局でマニュアルをつくりたいと思っております。河川レンジャーになられてから1年目、2年目の方向けに、「こういった活動をしていったらいいよ」とか「事務作業的にはこういうことがあるよ」とか、一連のマニュアルができていけば、スタートダッシュといえますか、スタートが切りやすいかなということでマニュアルをつくろうと考えております。少しまとまってくれば、委員の皆様にも情報提供させていただいて、アドバイスをいただきたいと思っております。 ・あとは、河川レンジャーの活動が4月から始まっております。こちらにつきましても、この後の各レンジャーからの報告で出てくるかと思っておりますので、こちらからは特に報告はしないでおきます。 ・駆け足でしたが、以上でございます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、ありがとうございました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今、報告にあったように、前回、第65回委員会での要旨を取りまとめて頂いた分、あとは、それ以降の動きとしてレンジャーの応募状況とか河川事務所とレンジャーの意見交換をして頂いたということですね。これに関して委員の皆様から、質問とか、どうでしょうか。前回委員会の取りまとめ等については一度お目通しいただいているところだと思いますので、それ以降のことについて何か質問とかございませんか。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・年度が始まって河川レンジャーに興味を持ってくださる方があったんだなと思ってうれしく拝見しましたが、何を見て応募して下さったのかななどを教えていただけますでしょうか。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なところですね。事務局、お願いします。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと具体的な話になるかもしれませんが、この水のめぐみ館内にアクア琵琶がございますが、以前そこで働いておられた非常勤の職員の方でして、ウォーターステーションの業務も時々見られているとか、お話しする機会がありまして、人材育成の仕事をしたこともあって河川レンジャーの役割にすごく興味があると前から言われていたので事務局からお声がけをさせてもらっていたところ、詳しく聞きたいということでした。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。では、身近におられた方が関心を示して下さったということなんですね。 ・トライアルして下さっている学生の方は、大学とかを回って下さって反応があったという感じですか。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうですね。チラシを見てということでした。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。わかりました。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの皆さんはいかがでしょう。 ・では、私から少し。トライアルの人ですけど、水上レンジャーの活動に参加したという報告をいただきましたが、そのときの感想とかはどうでしたでしょうか。何も言われてなかったですかね。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・一応レポートを書いていただいて、事務局に提出していただきました。またこれも共有せねばとは思っておりますが、非常に勉強になったということで、今後も続けたいかという質問にも続けて参加したいということを書いていただいておりまして、今、今後ある行事等も紹介しているところでございます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・「勉強になった」ということですが、具体的にどういう勉強になったのかまでは掘り下げてないですか。実際にまたそういう機会があれば、そこがわかればいいなど。確かに続けてもらいたいんですけど、ちょっとそういうところを、着目というか、つかむのも大事ななというふうに思っておりますので。

		<ul style="list-style-type: none"> ・同じようなことで、今、河川事務所との意見交換会の記録を出してもらってますけど、せっかくの機会なので、作文的につなげるのではなく、例えば「事務所からこういうところを伝えていきたい」とか「今こういう事業をしているんだけど、住民の方にどうだろうか」とか「この辺はまたレンジャーに活躍してもらおう場面かな」とか、「こういうことはどう？」ということをごく短い文章で言い表すことができないかなと。北井さんも御存じのとおり、前々から「レンジャー活動の理念・あるべき姿」というようなことを長い時間かけて議論してきたこともあるんですけど、今も改めて後ろのほうにつけてもらっている資料をながめているんですが、河川事務所のニーズというか、「今こういう事業をしているから、こことここをつないで、住民さんにうまく打ち出すにはどうしたらいいかな」というようなところをうまくピンポイントで出せないかなと。現にレンジャーが現場で動いていただいている分、感じているところ、やろうとしているところなど、いっぱいいっぱい出たことを分解していったら、本当にエキスだけというか、そこをうまく箇条書き的に見るだけでもいいと思うんですよね。まあ、まとめてということになると、労力も要って大変なんですけど、事実、今言いましたように、つけてもらっている紙は「意見交換を実施した」というところで終わっているの。私ども河川事務所との意見交換会でどういうお話が出たのか、何をしたのかということを知りたいと思ってますし、レンジャーも今日参加していただいているし、河川事務所もおられるので、こういう場でこそ、そういう細かなところを見たい。それをたちまち「じゃあ、この活動」ということにはならないかもしれんけど、そういうところを共有しておくのも大事なのではないかというふうに思いましたので、またよろしくお願いします。 ・委員の皆さん、ほかにいかがでしょうか。もしレンジャーから何かありましたらご発言いただければ結構ですが、どうですか。 ・根木山さん、どうぞ。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、ありがとうございます。 ・今回の意見交換会は、ご出席頂いた河川事務所の方からそれぞれ今年度担当されている業務について割と積極的に情報提供いただいて、大変参考になりました。それぞれの業務を実施する上で工夫されていることもコメントくださったので、「ああ、そういうことを考えながらお仕事をされていらっしゃるんだな」ということがわかって、とても参考になる意見交換会でした。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。まあ、全て関連するといえば関連しているところなので、後のパートでまたご発言いただければ結構かと思います。

		<ul style="list-style-type: none"> ・今の意見交換会とかに関して、河川事務所から特に何かないですか。また何かありましたら、後でも遠慮なくご発言いただければと思います。 ・では、前回委員会以降の動きについてはこれまでとさせていただきます、次に進めます。
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. 審議 2022年度河川 レンジャー年 間活動計画 (案)の承認に ついて	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・次は各レンジャーの年間活動計画の審議ということになりますが、まず進め方等について事務局から説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は、資料－５です。 ・本日までは暫定版をもとに活動を進められておりましたが、今回、計画を審議して頂くということでございます。 ・根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャーという順番で、説明10分、質疑応答10分ということで持ち時間お一人20分で進めさせていただければと思っております。10分経ちましたら、こちらから口頭で合図させていただきます。 ・あと、水上レンジャーにおかれましては補足資料がございまして、別途データで送らせてもらいました。会場の皆様には一番下のほうに置かせてもらっております。 ・事務局からは以上でございます。中谷委員長、進行をお願いしてもよろしいでしょうか。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、進めさせていただきます。 ・それぞれのレンジャーからの報告をいただいて、今、説明がありましたとおり、10分・10分をめぐりに進めていくということですね。 ・では、資料－５にあります順番で根木山レンジャーからお願いできますか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・改めまして、河川レンジャーの根木山です。今年で10年目になります。よろしくお願いたします。 ・ことしも「野洲川の川守りをつなぐ」というテーマを掲げて活動させていただきたいと思っております。 ・昨年度末の暫定版で承認頂いたものから基本的には大きくは変更のない内容になっておりますが、昨年度の委員会で委員の皆様から、もしすき間があれば今後河川レンジャーになるような人の発掘みたいなこともしてはどうかというコメントを頂いたので、その部分を項目として追加させていただいております。 ・今、表示いただいている計画書に基づいて説明させていただきますが、私が主に活動している野洲川下流部(守山市中洲地区)におきましては、ちょうど私が河川レンジャーを始めた年にかわまちづくりの検討が始

		<p>まっていた段階でして、それ以来、中洲地区に入って活動をさせていただいております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここは放水路のために農地を差し出した住民がたくさんおられて、野洲川に関する悲喜こもごもの思いを持っていらっしゃる住民が多い地域になります。 ・私のほうでは、新しい野洲川に住民が日常的に活動する姿が見えて、なおかつ、利用するだけじゃなくて、維持管理などに参加している住民の姿をつくるということをミッションに掲げて活動しております。 ・この間、かわまちづくりにおいて守山市と国交省で水辺整備が行われて、親水公園の整備もなされた状況です。そういった中で、整備された親水公園の利用が少ないといったような課題なんかもあったり、一方で利用を進めるために少し使用ルールを変更できないのかということを守山市、琵琶湖河川事務所と意見交換する中で部分的に改定されたりみたいなことが行われてきています。 ・そうした中で、引き続き今年度も、1つは住民グループの活動の支援を続けていくということを掲げています。特に、水辺の環境学習なんかの利用をフォーカスして、その価値をいろんな方々に伝えて利用者を増やしていくということに取り組みたいと思っています。 ・さらに、2番目のところで、利用を楽しめるようになった住民の方々には「みんなで利用している河川の維持管理も協力しましょうよ」ということで呼びかけさせていただいて、こういった機会をつくっていきたいと思っています。 ・3つ目は「住民の声の聴取」ということで、引き続き地域の方々にお話を聞いて、その声を行政にも伝えていくという役割を担えたらなと思っています。 ・4番目は、行政側のいろんな機関が関わっておりますので、河川管理の部署だけにかかわらず、守山市のいろんな行政機関にも顔を出しながら、必要なときに必要なつながりができるように日常的に関係構築をしたいと思っています。 ・5番目が追加した部分で、まず一つは、昨年度も派生して野洲小学校とか三上小学校という少し上流側の地域でも活動させて頂く機会がありましたけれども、中洲地区に限らず、野洲川沿川の地域との関わりもつくっていきたいと思っています。もう一つが、冬場とかに少し隙があれば、今後河川レンジャーになりたいというような住民がいなかったということも探索させていただいて、もしそういう人がいれば、支援室にもご紹介しながら、サポートできることがあればさせていただきたいなと思っています。 ・活動内容のところにページを進めていただいて、もう既に4月から2カ
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>月ぐらい経過しておりますので、活動の簡単なご紹介も含めて少しお話しさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民グループの活動に関しては、既に2回、Eボートをお借りしてやった活動が行われています。新しい住民のメンバーも加わって、野洲川の魅力を感じてくださっていることが感じられています。今週の日曜日には野洲川河口部のヨシ帯に行って、ヨシ帯を実際に現場で見ながら、ヨシの葉っぱを採取して地域に伝わるヨシのちまきづくりをするという活動を予定しております。 ・あと、中洲こども園さんも昨年度一緒に川遊びの活動を支援させていただきました。今年度も、園長先生が替わられたんですけども、「昨年から聞いてますので、ぜひお願いします」というご連絡をいただいて、先週、先生向けの講習をさせていただきました。昨年講習したのとは別の職員の方(5名)と一緒に講習会をして、今月後半に2回、園児たちと川遊びをする予定です。去年は1回だけだったんですけども、今年は回数を増やしたいということを園のほうからもおっしゃっていただいています。 ・あともう一つは、昨年、学区長が替わるといううわさがあったんですけども、4月に入って地域住民の方にヒアリングしたら、結果的に替わりなく、同じ方が学区長になられたということを確認させていただきました。まだ学区長さんにはご挨拶はできてないんですけども、また改めて機会を見つけてお話を聞きたいなと思っています。 ・あと、中洲地区に5つの自治会があって5人の自治会長さんがいらっしゃるんですけども、数年前に僕がヒアリングしたときから3人の方が入れ替わっているということが4月に行った地域住民からのヒアリングでわかっていますので、今年度はヒアリングできてない自治会長さんにはお会いしてお話を聞くということもできたらいいなと思っております。 ・一応、僕からの説明はそんな感じにさせていただきます。ありがとうございます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・根木山レンジャー、ありがとうございました。ご自身からもありましたように、10年という長きにわたり、野洲川近辺で頑張っていただいております。 ・では、今、発表頂いたことに関して、委員の皆様からの質問、ご意見等ありましたら伺っていきます。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。では、中谷から。 ・根木山さん、ありがとうございました。今までの活動の延長で、今度のちまきづくりとか、そういう「掃除もするけど、楽しいことも」というのは大事なところだなと思って聞いておりました。

		<ul style="list-style-type: none"> ・それから、例えば「今までとは違うところでオファーがあったから、やりましたよ」みたいな話であれば、それをつないでいくということも大事かなど。そこへ行ってやるのも大事だけど、可能であれば、やったところ同士をつなげられるようなね。「今度うちでこんなことをするから、おいでよ」みたいな、そういうところにも観点を持ってやって頂くと、参加する皆さんもよりおもしろいだろうなというような気がしました。もちろん、準備が大変とか、その辺はわかりつつも申し上げておりますが、できるようなところからね。それに、人を探すのにも、ちょっと乱暴な言葉ですけど、範囲が広ければ広いほど見つけれられる可能性が大きいということもあるかもしれないなということを感じました。 ・ほかの皆さんはいかがでしょうか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・今の委員長からのコメントにちょっとだけ答えさせてください。 ・この間の河川事務所との意見交換会のとて、調査課の環境係の方から瀬・淵の再生事業に関連したモニターの状況とかもお伺いさせて頂いたんですが、それが去年環境学習をした三上小学校や野洲小学校のエリアみたいで、将来的にはそういうふうな地域とつながられるんじゃないのかなということを感じましたので、そういうつながりもできますよということを事務所の方々にもお伝えさせていただきました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者としては落差工とかには危ないからあまり来てほしくないということかもしれないけど、周りの人は「何やろな？」というところから始まる人もあるかもしれません。 ・関連して、「川底の高さを細工するためにどうしても必要な施設ですよ。けど、魚さんには優しいことになってます」とか、そういうことの延長線上で、「あの川は、放水路をつくったんだけど、自然の姿で深いところもあれば浅いところもあったほうがいいね」みたいな、何かそういうところも。確かにおっしゃるように環境面ではということもあって、そこはうまく広報して頂くと、興味を持っている人にいいし、また勉強の機会を提供するということが非常に大事なフィールドだなと思って。まあ、瀬と淵ができれば、そういうところへ遊びに行きたいとは思っているんですけど。 ・そういう情報を生かしていただいて、うまく範囲をじわっと広げて頂くといいなと思います。ありがとうございます。 ・ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した活動を毎年してくださっているなと思っています。 ・幼稚園から高校まで、学校と連携して川に入ってもらえる機会をつくる取り組みが増えていますがけれども、そのぐらいの年代で川の中に入ったり、川に関する学習ができるというのはなかなかやってそうでやってないので、機会がつかれていいなと思います。

		<ul style="list-style-type: none"> ・あと、ちょっと欲が出て、学校と関わってやっていると、そのときに来てた生徒さんに住民活動にも参加してもらいたいなど。なかなかルートをつくるのが難しいかと思うんですが、Eポートで遊びながら川と親しむ活動とか今年度の後半に予定されている維持管理に関わる伐採の活動、そういうのにこれから実施される教育機関係の活動に来られた生徒さんを引っ張れるというか、告知ができるというか、そんな仕掛けがあるでしょうか。何かしていらっしゃるか、その辺を伺いたいなと思いましたが、いかがでしょうか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・はっきりとした成果はまだお伝えできないんですけども、昨年度からできた流れとして、5月にこども園の先生向けの講習をして、6月、7月の頭で子供たちに入ってもらって、7月に住民グループによる川遊びのオープン活動があるので、それに参加しませんかというのを小学校やこども園に配布しています。去年はすごくたくさんの方が参加してくださったので、多分こども園のご家族も来てくださったと思うんです。そこから住民グループのレギュラーメンバーに入っただけだと、冬場の維持活動への協力につながっていくのかなと思っているので、その流れができたらいいなかなと。 ・それから、去年との変化でいうと、中洲こども園さんにも、川遊びに関して、「僕らも支援するんだけど、ずっと支援できるかわからないので保護者さんにも協力を呼びかけてください」と昨年度からお願いをして、去年は3人の保護者の方だったんですけど、今年は2回の活動予定があり、9人の保護者の方が来る日と7人の保護者の方が来る日があって、割と思ったよりも多かったんですと園長先生におっしゃっていただきました。昨年やったことの結果として保護者の方もすごく興味を持ってくださっているのかなという変化はあるので、その中の流れをうまく住民グループのメンバーに呼び込んでいって、そこから維持管理にも参加してくれるような流れにできたらいいなというのが仮説としてはあるかなというふうに思ってます。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。90人がお越しになったこと、そのチラシの告知とかがつながってたのがわかりました。 ・小学校では手間がふえるのでという理由でチラシをまくのをやめられるところもあるので、そうやって告知をつなげてやってくださると、ありがたいですね。もっと関わってくださる方がちょっとずつ広がるといいなと思います。ありがとうございます。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・ほかの委員の皆さんはいかがでしょう。辻委員、どうぞ。

	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・根木山さん、ありがとうございます。今年も期待しております。よろしくお願ひします。 ・2点質問です。 ・1点目が、特に学生さんの意識についてです。去年も高校生、ことしも守山北高校が関わっていただけてますが、高校生というと、もう大分大人というか、中には次は社会人というような年ごろです。高校生に関わってくださって「将来河川に関わろうかな。」というような声があったのか。将来の仕事や地域活動に関わるようなコメントとか印象をお持ちでしたら教えてほしいというのが1点です。 ・2点目が、自治会長さんのレンジャーへの期待についてです。最後のほうに自治会長さんが交代されていたとのお話もありましたが、これまでの自治会長さん、または新任の自治会長さんが感じておられるレンジャー、また根木山さんへの期待とか、「こういうことをしたらもっといいな」みたいな、自治会長さんのレンジャーへの期待について、何か感じておられるようでしたらお聞きしたいです。 ・以上2点、お願ひします。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・昨年度も北高校さんの受け入れをしていただきありがとうございます。北高校さんは、昨年度は初年度ということで先生たちもすごく手探りでされて、あと夏場はコロナ禍でちょっとスタートが遅れたのもあって、しかも去年は3年生だったので割とアフターフォローをする間もなく卒業していかれたというところがあったので、まだ「成果です」と言えるようなところまで声を拾えてないのが現実なんですけれども、今年度からは1年生全クラスで地域に生徒を出すということを始めるというふうに学校としては一歩踏み込んでおられます。それから、1年生になってくると、2年、3年と、またアフターフォローもしやすくなっていくので、辻さんが今コメントして頂いたような視点も踏まえて関わられたらいいなど。現状はそのような感じになります。 ・2点目の自治会長のところなんですけれども、数年前に5人の自治会長さんにヒアリングをした感じでいうと、「野洲川は宝だから、野洲川を地域活性化に生かしたいんだ」という自治会長さんもいれば、「しゅんせつしてくれ」みたいなことを半ば恨み節でおっしゃられるような自治会長さんもいらっしゃって、5人それぞれでした。野洲川を生かしたいんだというタイプの自治会長さんにしてみると、「根木山さんの活動でこのぐらいのことが起こるのか」というのを、すごく期待されているということではないけれども、見てくださっているというような状況だと思います。なので、野洲川でやっていることも、折に触れ、「こういうことがありました」とか「今度こういうことをします」とか「90人も川遊びに

		<p>来てくれました」みたいなことはお会いするたびに自治会長さんにも進捗として報告させていただいているような状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上になります。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・根木山さんが関わってくださっているおかげで地域の住民さん、また学生さんは川への関心を高めてくださっていると思いますので、大変だと思えますけども、引き続きそういったつなぎをよろしくお願ひしたいと思ひます。 ・以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・辻委員、ありがとうございます。 ・矢野委員、どうぞ。
	矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・根木山さん、いつもながら、お疲れさまです。 ・私からは、質問という話ではないんですけども、2点。 ・いろいろお気遣ひいただき新しい人を探していただいているということなんですけども、何も根木山さんに早く替わってほしいというふうには思ひてござひませんで。それはそれということで線引きして、新しい人を探すというのも一つ大事というふうにお考ひいただきまして、あまり気を悪くなされないうにお願ひしますというところが1点。 ・それから、コメントを返して頂く必要はないんですけども、今も話がありましたように、我々、内部でも話はしているんですけども、河川レンジャーの活動を広く広報していこうと思うと、ある程度いろいろ媒体を使いながらというのはできるんですが、そうすると、比較的小孩さんと一緒に活動して頂くということなので、写真を提供するのがいいのか悪いのか。ただ、字づらだけで広報するとなると、やっぱりわかりにくいというふうなことで、広報の仕方今この時代に際して非常に気を遣ひているところがあります。その中で、河川レンジャーがどういったことをやっているかというのだけをみんなに知って頂くのは非常に難しいなと思ひております。 ・そういった中、現場に来られている方々がそういったところについてどのようにお感ひになっているかというのを——これはアンケートをしてほしいというわけではなくて、そういった声が聞こえたら、我々事務所や支援室にも情報提供いただければ、広報の仕方考ひつつ、河川レンジャーを有名にする方法を考ひていくというところにも寄与したいと思ひます。なかなか難しいタスクではあるんですけども、我々としては理想は追いかけていかないとはいけないと思ひますので、よろしくお願ひします。 ・私からは以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・では、次へ進めさせていただきますので、よろしくお願いします。 ・続きまして、水上レンジャー、お願いできますか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・6年目に入りました河川レンジャーの水上です。よろしくお願いします。 ・私からは、前回、前段のほうは説明させていただきましたので、きょうは、既に終わっているやつも含めて、全体の計画を部分的に説明させていただきたいと思います。 ・最初に、「今年度の成果目標」ということで3つ考えました。環境保全ということで野洲川河川清掃。できるだけ住民主体に持っていきましようということで進めています。2番目は、樹木再繁茂対策。これは特に野洲川の水害から地域を守るということで、住民の皆さんと一緒にやりましようということで進めています。住民の声もちろん聞きながらやります。 ・昨年いろんな感想やご意見をいただいておりますので、そこをできるだけクリアできるようにしましようということで進めていまして、その計画も立てていますが、その中で特に5番目。第2部の伐木を利用する場面では、炭づくりとか、そういうのはいいけども、去年は1回で、しかも午前中ぐらいで終わってしまって、時間管理がしっかりできなかったと。それともう一つ頂いたのは、6番目ですが、教育フィールドとしては非常に重要な環境だけども、立命館守山中学校の生徒たちをできるだけたくさん参加させるためには交通手段も要するというので、それも考えてもらいました。 ・そういったことを受けて立てたのが、1つは野洲川河川清掃の実施計画です。参加者は100名ぐらいということで、同じぐらいの規模を考えています。企業は、レイマックさんと綾羽さん。それから、根木山さんと連携させていただいて、なかす野洲川たんけん隊。あと、中学校や地域住民の方。行政としましては、琵琶湖河川事務所、守山市。 ・例年どおり1部と2部がありまして、1部は河川清掃を主にやります。2部は少し楽しいことを考えてます。2回やろうと思っておりますが、春は河川清掃を中心にやるということで、第2部は秋しか書いてません。 ・なぜそうしたかという、アンケートでも頂いたように、昨年11月のときは3つも4つもやったんですが、進行役が1人でしたので、きちんと統一がとれてなかったと。ですから、少し薄くなりますけども、数をやるということで考えてます。そのほか言われたのは、地元住民の参加者を増やしてくださいと。これについてもきちんとやってみたいということで、6月25日に清掃活動を予定しておりますので、これに向けてチラシを作って、あすにでも地元の皆さんに説明に上がり調整を行おうと思っております。 ・次に、幼木伐採と簡易炭づくりにつきましては、もう既に5月21日に

終わりました。それについて詳しく説明させていただきたいと思いますので、別のパワーポイントの資料をお願いします。

- ・5月21日(土)、参加者は20名で、立命館守山中学と琵琶湖河川事務所とでやりました。その内容は、幼木伐採と簡易炭づくり、魚類調査です。
- ・右の写真のように小さい幼木がありましたので、それをどうするかということで調整させていただきました。特に今回は野洲川の水害から地域を守るために河川管理者の琵琶湖河川事務所と立命館守山中学が連携・協働してやりましょうということで、そういう調整というか、つなぎ役をさせていただきました。その結果、野洲川を管理している琵琶湖河川事務所の職員の方と立命館守山中学校の生徒さんたちが一緒に汗をかきながら、まずはこのような形で木を切りました。そして、簡易炭づくりのための幼木材の加工。幼木材を加工して再利用しましょうということで、SDGsの小さな取り組みも琵琶湖河川事務所と一緒にやって頂いたと。あと、簡易炭づくりは立命館守山の生徒さんと先生を中心に詰めてきたという形でやってきました。特に今回、SDGsの取り組みもありますけども、行政の琵琶湖河川事務所と生徒たちが一緒に汗を流すという、まさに協働・連携のつなぎができたのではないかと思います。ただ、同時でしたので、職員の方もたくさん来て頂いたんですが、これはちょっと大変だなと思って、今後どう連携していくかということも考えないかんと思っています。
- ・今回もう一つ工夫したのは、野洲川河口部のモニタリング調査。委員の方もよく御存じのように、2年ほど前までは私が河川レンジャーとして立命館守山中学校と琵琶湖河川事務所とをつないでこの調査をやってました。その後、事務所とつないだ結果、立命館守山中学と信頼関係ができましたので、去年ぐらいからは、河川レンジャーは一步引いて、琵琶湖河川事務所の方と直接いろんなモニタリングをやられるようになりました。ここにも「河川レンジャーと琵琶湖河川事務所が連携」と書いてますが、午後からは魚類調査を一緒にやりましょうということで声をかけて、河川事務所の方が主導で実施しました。だから、午前中は河川レンジャーがつないで、午後は過去やっていたものを事務所主導で実施したということで、午前と午後とで連携の形をちょっとずつ変えてつなげることができたのではないかと思います。
- ・全部ではありませんけど、参加者の主な感想です。幼木伐採の感想としては、「楽しかった」ということ。それから、事前に国交省の職員の方に再繁茂対策について説明していただきましたので、4番目の「大きな木になると確かに大変だなと思った！」とか6番目の「幼木を細かく切って分けるのにもかなり根気のいる作業でしたので、これが成長しきった木だと余計大変になるという事が分かりました。」のように、小さいうち

		<p>に切ることが野洲川の水害から地域を守ることにつながるんだという幼木伐採の意義を理解していただけたので、一緒に体験したことも含めて、よかったのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • それだけではなく、「野洲川でどんな活動をしてみたいですか」というのも聞いてみたところ、「ボートによる野洲川探検」、これがやりたいことの一つでした。あと、「1泊2日のキャンプがしたい。」「野洲川によく来る野鳥や昆虫の調査」「水質調査」というような感想を生徒たちからいただいています。 • 以上、計画と今までやってきたものについて説明させていただきました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • 水上さん、ありがとうございました。 • ただいま発表頂いた件について、ご質問、ご意見等お伺いします。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。では、中谷からよろしいですか。 • やってもらっていることを細かについてということではなしに、幼木伐採に参加して頂いた人の中で、「ほとほと大きくなって大変だな」とか「何で切っているの?」とか、そういう素朴な疑問をしゃべる人はいなかったですか。要は、木を切るというのは当然皆さんが手を加えてやってはるんですけど、「そもそも何でこの木を切っているの?」とか、そういうことを言う人はなかったですか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> • 幼木伐採では、事前に国交省の方に来ていただいて勉強会みたいのをやったんです。そこで「切るのはわかりました」ということでしたので、恐らくそういう質問がなかったのはそのためではないかと思ってます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • そもそもいうところも知って手を加えることも大事だと思うので。はい、ありがとうございます。 • ほかにいかがでしょうか。はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> • 河川清掃活動が中心の計画になられたのかなと思ひながら拝見しました。募集の仕方について、ある程度お声がけできる団体さんに参加頂くという形なのか、少し広げて告知や参加を募るようなことも組み合わされるのか、どちらかなと思ひましたが、どうされるご計画でしょうか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> • 後者のほうです。具体的にいいますと、レイマックさんとか綾羽さんは企業として参加してますので、もう既に調整をしてます。あと、立命館守山中学校とか。それに加えて、地域の方。 • なぜ今までしなかったかということ、コロナの関係であんまり広げるのもということで。ただ、確かに感染者はいますけども、今ちょっと緩和されてきてますので、実は、あす、春に向けてチラシをまきます。自治会とか守山市の市民センター、エコパーク、近くの中洲会館、そういうところにチラシを置いて、実際来ていただけるかどうかかわからないけども、一般参加のトライアルをしてみようと思ひてます。

	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・コロナも屋外はマスク不要などの話も出てますし、やりやすい風潮になってきたかなと思います。 ・河川レンジャーで清掃活動というと、桂川の清掃活動が思い浮かびまして、あれは流域ごとに参加団体さんがあったり、かなり大きな活動になってたので、いろんな方が関わる余地がある企画だなと思います。手広くしろというわけではなくて、余地があるなということで、いろんな工夫を重ねてくださるといいなと思いながら拝見しました。 ・いつも天候に悩まれるので、今年度は無事に開催できるといいですね。よろしく願いいたします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、辻委員、どうぞ。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・水上さん、いつもありがとうございます。去年、水上さんが出されたレポートも楽しみに拝見させてもらってました。ありがとうございます。 ・私からは2点聞きたいです。1点目が立命館守山中学さんとの関わりの確認と、2点目が今年の秋に実施される清掃についてです。 ・まず、1点目の立命館守山さんとの関わりです。ことしも教育フィールドとしてかなり重要な環境だと思っているということで計画いただいてますが、たしか守山中学さんはサイエンスが好きな生徒さんも多くて、このフィールドでの活動では中学生にしてはすごい高度なことをしておられたという印象を持っています。水上さんが関わられることでさらに専門的になるのではないかなと期待しているんですが、特に今年、守山中学さんと活動される中で「こんなトピックス的なことがあるんやで」みたいな情報があれば教えてほしいです。それが1つ目です。 ・2点目が、秋の清掃活動ですが、去年は3つも4つもやったら大変やったというコメントが先ほどありました。秋は、河川管理者からすると、台風シーズン前でもありますし、河川管理上からも非常に重要な時期と思っている。特に秋に向けて、単なる河川清掃ではなく、治水面についても何か関連を再確認しようとか、そういう副次的な狙い等もお持ちでしたら、お聞かせいただきたいと思います。 ・以上2点、お願いいたします。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のご質問ですけども、特にトピックスはないんですが、サイエンスクラブですので、炭づくりはまさにサイエンス的なところがありますので、事前のときも現地も含めて、顧問の脇田先生が非常に興味を持っておられたので、サイエンス的なところの説明をしていただきました。それで、SDGsではないんですけども、できたものをいかに使うかということで生徒たちに持って帰ってもらいました。確かに、みんなロボットが大好きですのでそこは大変だったんですけども、少しサイエンスっぽい

		<p>ところをやりましたので参加してもらったということですね。その中でも魚の調査がおもしろかったというのが多かったです。10人弱でしたが、女の子も来ましたし。本当は父兄の方も呼ぶ予定だったんですけども、ちょっと都合がつかなくて来ていただけませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一つ。秋は河川清掃をメインにやるんですけども、そこに、もう調整に入っているんですが、幼木伐採を綾羽さんの研修にうまく組み込んでみようかなと。幼木伐採だけでなく、治水のところも一緒に勉強してもらおうというか、現地で体験してもらおうというのも考えてます。その中で、SDGsということで伐採した幼木をうまく再利用すると。例えば、アヤハディオで加工して袋をつくったり、いろんなことをすると。まさに先週それを調整しまして、やる方向で進んでますので、また報告させてもらいます。そのように楽しく治水を学ぶような感じで体験してもらおうということも考えてます。 ・防災かまどは、レイマックさんのほうに調整に行ったんですけども、コロナの関係もありまして、炊き出しはまだちょっと難しいと。ただ、このまま収束していけば、防災かまども少しやってみようかなとは思ってます。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・もう一点、追加で教えてください。今、後半で、幼木伐採したものを綾羽さんで加工するという説明がありましたが、これは、商品として売るとか、そんなふうにつながっていくという理解でしょうか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・それも去年考えたんです。研修の中でそれを商品として売るという提案をして頂いたので実際やろうとしたんですが、綾羽さんとしては、綾羽ブランドになりますので、やっぱり品質がしっかりしたものでないとだめだからそれは難しいという話で、今のところ、キャンセルされてます。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・品質も大事でしょうけど、SDGs、持続的に改善していくみたいな取り組みとしては、ものすごくいい発想だなと感じました。商品開発をする、お金が儲かるという、新しい仕組みなのかなという気付きをもらいましたの。こういったものが広くつながるような取り組みになることを期待しております。今年もよろしくお願ひしたいです。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。SDGsの関係は、例えば綾羽さんの広報誌に載せてもらうとか、できたものをあそこに展示してもらうとか、そういうのも一回トライしてみようと思います。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・期待しております。以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ほかに何かありますか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、1つだけ。河川レンジャートライアルの方が来られましたので、感想だけお話しさせていただきたいと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャートライアルの方に野洲川河口部の活動と河川清掃についてお話しさせていただいて、直接体験してもらおうということは理解して頂くのに非常によく、「河川レンジャーって、おもしろいな」というようなことを言っていました。トライアルとして河川レンジャーについて現場で体験してもらおうというのは非常にいいかなと思いますので、ぜひそれはやっていきたいと思ってます。今度の野洲川河川清掃にも来て頂くことになってます。 ・ということで、ちょっと情報だけ。お願いします。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。よろしくお願いします。 ・では、福西レンジャー、お願いできますか。
R 福西	<ul style="list-style-type: none"> ・去年から河川レンジャーとして活動させていただいてます福西です。 ・去年に引き続き、テーマの内容は変更なく、「瀬田川を愛する人々が、安全・安楽に共存できる川づくり」を目指して活動させていただいています。 ・「1. 瀬田川利用者の実態とニーズの把握」の上から4番目に「活動中に釣り人のライフジャケット着用率を観察し、毎月着用率を算定していく。」と挙げてます。レンジャー活動中、釣りシーズンということもあり、3名から7名程度お見かけするんですけども、瀬田川で釣りをする方々のライフジャケット着用率はほぼ0%でして、皆さん未着用で釣りをされています。お一人、同年代でちょっとお話ししやすそうな方がいらっしゃったのでお話しさせていただいて、ふだんは琵琶湖本湖のほうでボートに乗って釣りをされているということだったんですが、瀬田川でも落水の危険があるということを説明させて頂いたところ、次回から瀬田川で釣りをするときはボートで使っているライフジャケットを着用しますとおっしゃって頂くことができました。この活動は、もう少し着用率などを算定して活動をしていけたらなと思います。行動変容というお言葉をいただけたので、とてもうれしかったです。 ・その1番の上からの6つ目の黒丸ですが、6月と12月の年2回、応急手当普及員の上平氏による講習会を開催予定です。タイトルは、ここでは仮になっているんですけど、「応急手当と水難事故発生時の対応」ということで、ウォーターステーション琵琶館内で行わせていただきます。6月20日(月)に開催予定で、対象は地域住民の方。コロナの影響もありまして10人ほどを予定しているんですけども、現在のところ、参加者は5名ほど決定しています。僕もレンジャー活動中に地域住民の方に「講習会を行いますので、よかったら参加していただけたらと思います」ということを説明していて、お一人の女性の方から予定が合えば参加させていただきたいですという言葉もいただいていますので、連絡が来たらいいなという感じで待っているようなところです。この講習会に参加して頂いたら普通救命講習修了証というのを上平氏から発行してい

		<p>ただけますので、そういうオプションもあるということで、6月20日に予定させていただいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、2番目、「景観保全やマナー面から見た課題の把握」ということで、(1)の上から4つ目に釣り人による路上駐車の実状観察ということをやっています。南郷公園付近に1件路上駐車がありまして、フナ釣りの釣り師の方が荷物をおろされているところでした。「路上駐車はだめですよ」というような関わり方をしたらトラブルになりますので、「どんな釣りをされるんですか」というところから入って行きました。「荷物をおろしたらすぐ動かすので」と言っていただけて、荷物を全部おろされたら、すぐに南郷公園の無料駐車場に行かれましたので、一安心というようなことがありました。ここはもう少し路上駐車の実状観察をしていきたいと思います。 ・(2)のところなんですが、「地域住民や活動団体による清掃活動行事の企画・実行」ということで、10月中旬に清掃活動行事の企画を行いたいと思っています。釣り仲間もたくさんいるので、その方々を巻き込んで地域住民と交流できる形をとれたらなと検討しているところです。 ・今のところ、活動中、お話を聞くに当たって、トラブルなく活動できています。今後も継続して続けていきたいと思っています。 ・僕からは以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・福西レンジャー、ありがとうございます。今もお話し頂いたんですけども、声をかけるにしても気を遣って手順を踏むというか、そういうことをやってもらっているのは非常に丁寧でいいなと思っています。 ・では、ほかの委員の皆様、いかがですか。ご意見ありましたらお伺いしますが、どなたからでも。はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・お伺いというか、コメントしたいと思います。 ・地道にいろいろな記録も積み上げてくださっているのを拝見しております。お疲れさまです。今年度も取り組みを続けていただけたらと思います。 ・ちょっと思い出したんですけど、根木山さんも一緒におられるときに聞いた話なんですが、「マザーレイクゴールズ」という滋賀県が取り組んでいる活動の一環でどんな企画ができるかな、みたいな話題で話していた機会に、昨年度そこの事務局の方が「県によく『ごみ拾いをしたいんだけど』という問い合わせがある」ということをおっしゃられていて、ごみ拾いのノウハウを教えるということも講座の一つになるかもというような話が出ました。淡海を守る釣り人の会という団体さんもあって、ああいう団体さんはかなり大規模に企画されていると思いますけど、福西さんのように1人で回りながらごみを拾っておられる方もいらっしゃると思いますし、今度の企画のように10名ぐらいの中規模のグループ

		<p>でやるというバージョンもあると思うんですね。ノウハウが積み上がっていったら、そういうふうなことも整理して発信するというか、お声がけのときに「拾ってみませんか」みたいな呼びかけをするようなことももしかしたら組み合わせてできるのかもというような気がいたしました。もし経験が積み上がっていったらこういうことが整理できるようなら、ごみ拾いノウハウというか、「あなたもこうやって拾いましょう」みたいなこともされてみてはどうかと思いついて見ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一つ思ってたんですが、また思いついたら言います。うっかりしてしまいました。すいません。とりあえず以上です。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・北井さん、ありがとうございました。 ・委員の皆さん、いかがでしょうか。はい、辻委員、どうぞ。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・福西さん、ありがとうございます。1点確認です。これからの期待を込めて述べたいと思います。 ・応急手当普及員の研修をしていただき、資格証ももらえるというような視点はすごいいいと感じました。ありがとうございます。 ・去年レンジャーに応募してくださったときに看護師なんですということをおっしゃってた記憶があります。ですから、看護師さんという視点でこういったことを企画してくださったのかなと感じました。そういったお仕事上の関係とレンジャーの関係で応急手当普及員の研修企画につながったのかなと感じています。 ・何か感じられたことがあったのかどうか。それがこの応急手当普及員さんとの連携につながったのか、その辺をもう少し詳しく教えてほしいです。ぜひとも期待したい内容です。よろしくお願いします。
	R 福西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・年々水難事故の件数がふえてきてまして、自分自身、看護師という命に携わる仕事をしているんですが、正直、僕自身も応急手当普及員という存在を知りませんでした。そことコラボという形をとらせていただいて、今回は1回目なんですけども、5回、6回と回数を重ねてきたときに、人工呼吸であったり、心臓マッサージなど、看護師視点の意見もそこに取り入れて勉強会の内容を濃くしていけたらなという思いはあります。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・川辺、水辺で遊ぶ人は「安全に」と心がけているとは思いますが、やっぱり事故というニュースもたまに見ますし、応急手当普及員の方がたくさんいらっしゃると、万一けが人が出たときも対応できていいなと感じました。引き続きお願いしたいと思います。 ・事務局に確認です。看護師さんとか、こういった応急手当というような活動を過去のレンジャーさんの中でいらっしゃったのでしょうか。参考

		<p>に教えてほしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上です。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもの記憶では初めてかなと思っています。資料を見る限りでは記憶はないんですけども、北井委員や中谷委員長、過去のレンジャーでそういう活動をされている情報がもしございましたら。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・私の覚えている限りでは、なかったとおもいますが。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の取り組みはありましたけども、救命救急とか、そういうふうなことについてはなかったかなと思います。レンジャーの研修みたいなことで機会をつくられたりはあったように思いますけども、レンジャーの活動でというのはなくて、有意義な機会かなと思っています。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・私もすごい目新しい取り組みだなと感じました。新しいというか、レンジャーの幅が広がったなという感じがしますので、ぜひとも今年の活動を期待したいですし、また琵琶湖河川事務所や事務局もこういう医療系にもつながっているんだよというのをぜひとも発信いただいて、レンジャーの活動をさらにみんなに周知というか、つなげてもらえたらなと思います。 ・以上でございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・辻委員、ありがとうございました。 ・はい、矢野委員、どうぞ。
	矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・福西さん、どうもありがとうございました。私からもコメントです。 ・今年度も、注意深く、さまざまやっていただければと思います。先ほど来、話がありましたが、幅広くやっていくというところでは、委員というよりは事務所ということで考えますと、河川レンジャーに「こういったことをやってほしい、ああいったことをやってほしい」というよりは、いろんなことができるということを我々としては幅広く受け入れるというところかなと思っています。 ・さっき、辻委員からもありましたように、国交省としてはいろいろありますけども、とはいえ、昔のイメージからすると、大分緩くなってきたというか、幅が広がったという表現にして頂くとすごく助かるんですけども、手をかえ品をかえ、お金をもうけるとか、そういうふうな話もちよっと視点を変えながらというふうなことで幅が広がってきて、どういう解釈もできるようになっているというところではあります。だからといって、お金もうけをしましょうということを推進するつもりはないんですけども、それ以外のところも幅広に受け入れていこうというふうにはなっておりますので、支援室を通じてでも結構ですので、こういったことをしたいということをおっしゃっていただければ。だめなものだめと申し上げますけれども、なるべく幅広い考えを持ってやって

	<p>いきたいと考えてますので、お願いしたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あとは、防犯上の問題等々ありますので、我々としても警察等とも連絡・調整してございます。そういったところではご安心できるような報告ができると思いますので、またよろしく申し上げます。 ・もう一点、問い合わせの情報につきましては、我々事務所のほうは維持管理で、出張所のほうには「ごみがここにあるから」という要望は来るんですけども、それ以外もあろうかと思えます。そういったところも、もし瀬田川に関する事で情報があるならば、どういった経緯を使えばいいか、窓口さえ教えていただければと思います。そうすれば、そちらのほうにも言える。道路なんかですと、#9910ということで、国道であろうが県道であろうが市道であろうが、路上に物が落ちてたら、通報すればそれぞれの担当のほうに行くというようなシステムを使っています。我々の場合は、そこまでお金はかけられないんですけども、そういった情報が入れば、情報共有することですぐ対応する。もしくは、時間をかけてやらないといけない場合は、レンジャーにもご協力いただきながらやっていくというふうなことを考えていきたいと思いますので、今回ご参加の方々には情報共有を引き続きお願いしたいと思います。 ・私からは以上です。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・矢野委員、ありがとうございました。 ・では、お三方から計画を説明いただきました。それぞれ個性を生かしながら、これまでの経験も生かしながら頑張って取り組んでいただいております。審議という面でいいますと、計画の承認ということになるんですけども、これはもう出してもらっているとおりの計画を進めていただければと思いますので、問題なく承認するという事にさせていただきます。 ・あと、今、委員の皆様から出たようなところをうまく生かしていただいて活動を進めていただければと思います。 ・福西さんにおかれては、県境を越えて来ていただいておりますので、時間配分ですとか、ご自身の安全確保という面にも注意して取り組んでいただければと思います。 ・今も委員の皆様から出ましたように、ライフジャケットにしてもそうですし、個々の方がごみ拾いをするとか、そういうところがじわっと広がっていくというのも大事なことですし、企業さんとコラボしながら「こういうためになる活動をやっているんですよ」ということを打ち出していくことももちろん大事ですし、はたまた学校とか地域自治会とうまく関わりを持ってやっていただいているのは非常に大事なことだと思いますし、例えば、今、全国的には防災の問題もいろいろあります。特に行政的に見ますと、流域治水協議会というようなことも方方で立ち

		<p>上がったりしています。やっぱりどこかでそういう防災面とくっついてくるところがあるんですけど、ダイレクトにそれを使うということではなしに、そういうところから側面的に「こういう地道な活動がありますよ」というようなことも含めてうまく使いながら、レンジャーの活動が地域にとって受け入れやすいようになることも大事だし、地域の人も「ああ、こんな活動があるんや」ということで、身近な川とか、そういうところを大事に考える機会になるなというふうに思って聞いておりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほど申しましたように、これらの活動計画は承認させていただいて、3人のレンジャーにはますます頑張って頂くということでよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。 ・そうしましたら、審議事項はこういう終わり方でよろしいですかね。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・では、河川レンジャーの皆さんは、これから河川事務所の方や滋賀県の方との相談、調整事がありましたら、支援室にご連絡ください。今後の活動の展開のほう、よろしくお願ひいたします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (1)2022年度の年間スケジュール	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・では、「その他」ということで2022年度のスケジュールを資料-6にてご紹介します。 ・既に終わっているものは先ほどご報告いたしました。今後の年間スケジュールとしましては、まず一番左の列の制度運営委員会関係ですと、10月ごろに河川事務所と河川レンジャーの2回目の意見交換会を開催したいと思っております。制度運営委員会としましては、中間を11月ごろに考えております。また、年度末は2月下旬ごろを目標に考えています。河川レンジャーと委員の皆様との意見交換も企画したいと思ひますので、またよろしくお願ひします。 ・レンジャーの皆様におかれましては、河川レンジャー勉強会を今年度も開催したいと思っております。1回目を夏ごろ、7月から8月のお盆までぐらいを予定しています。去年は野洲川中心に勉強会を展開しましたので、今年、福西さんをイメージしながら、瀬田川のごみの問題とか、そういったテーマを考えたいなと思ひています。後半のほうは今後レンジャーとも相談しながら考えていきたいと思ひています。ミーティングも3回ほど書いておりますけども、追加等も考えながら適宜開きたいと思ひています。 ・その他、河川レンジャーレポートにつきましては、夏ごろ、秋ごろ、また年度末ごろに発行を考えております。

		・簡単ですけど、今年度のスケジュールでございました。以上です。
	中谷	・スケジュール、ありがとうございます。具体的には、また適宜ご案内をいただいてというところですね。
	△中西	・はい。
	中谷	・あと、今もお話がありましたレンジャーレポートの発行ですけども、前の機会に私から少しお話しさせていただきましたが、レンジャーが活躍されているフィールドとその周りとか、自治会組織なりを使ってうまく広がるように工夫をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
	△中西	・はい、わかりました。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (2) その他の ご意見	中谷	・あと「その他のご意見」はどうでしょうか。
	△中西	・今回、傍聴者はございませんでしたので、こちらは割愛でお願いいたします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、わかりました。 ・それでは、少しだけしゃべらせてください。先ほどマザーレイクゴールズということもありましたし、その手前というか、上というか、クラウド的にはSDGsということもあるわけなんですけど、具体的にそれを分解していくと、地元では水草の問題とか外来魚の問題というところもあるんですけど、それぞれそういうひっかかる場所で活動はされているし、そういうお知らせチラシとかもあると思うんです。 ・それで、ここからは大分手前みそな話なんですけど、今度7月9日に、びわこルールキッズの関係で、大津港辺で外来魚釣り大会があります。びわこルールキッズというのは、ある一定の期間、子供たちが釣りをして「外来魚がこれだけたくさん釣れました」と言うと、その量によって何かプレゼントをあげますよというような仕組みになってます。例えば、福西さんが釣り人さんに声をかけてもらっているときに、年代的には恐らくキッズと自分で車を運転してきている人とは合わないと思うんですけど、こういう活動もやっているみたいなところですね。多分、チラシをウォーターステーション琵琶に置いてあると思うのでちょっと見つけていただいて、持って回ってもらうと、声をかけるときの何かになるかということもあるので。 ・事務局におかれても、またそういう情報があれば有効活用できるように取り組んで頂くと、何かしらちょっとでも世の中に「こういうことをやっています」というのが広がるし、レンジャーの活動にしてもさっき申し上げたようなとおりで、うまく関係のところへ広めましょうということ

		も大事なかなと思っておりますので。 <ul style="list-style-type: none"> ・というようなことを申し上げまして閉会とさせていただきたいんですが、委員の皆様から何かないでしょうか。せっかくの機会なので、ありましたらどうぞ発言いただければ。はい、北井委員、どうぞ。
	北井	・さっき忘れてたことを思い出しました。福西レンジャーのTwitterをこっそりフォローしておりますので楽しみに見てます、ということでした。
	R福西	・ありがとうございます。
	中谷	・みんなでアクセスしましょう。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
6. 閉会	中谷	・では、今日は以上で閉会とさせていただきます。皆様、どうもお疲れさまでした。ありがとうございます。
	△中西	・中谷委員長、進行ありがとうございました。
	矢野	・委員長、副委員長、どうもありがとうございました。お疲れさまでした。
	北井	・お疲れさまでした。ありがとうございます。
	中谷	・では、皆さん、どうも今日はありがとうございました。